

## 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
単元株式数	100株
株主名簿管理人及び特別口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL. 0120-094-777 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部
証券コード	4971
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL <a href="http://www.mec-co.com/ir/denshi/">http://www.mec-co.com/ir/denshi/</a> (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

### 【ご注意】

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできません。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記の特別口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



## メック株式会社

本社事務所/〒660-0881  
兵庫県尼崎市昭和通三丁目95番地 アマックスビル  
TEL. 06-6414-3451(代) FAX. 06-6414-3455

URL <http://www.mec-co.com/>

## ニュースメール配信サービスのご案内

当社では、ホームページにニュースリリースや新しいコンテンツが掲載された際に、ご登録者のみなさまにそのタイトルとURLを電子メールにてお知らせするサービス(ニュースメール配信サービス)を行っています。

ご希望の株主さまには、こちらのサービスの送信先メールアドレス(携帯電話のメールアドレス不可)を、当社ホームページまたは、ダイヤ・ネットサービスシステム(<http://www.dirnet.jp/>)から、簡単にご登録いただけます(無料)。

## アンケートのお願い

当社では、株主のみなさまとのよりよいコミュニケーションを目指し、今後も業績情報の開示の充実に努めてまいりたいと考えております。

つきましては、この株主通信に対するご意見、ご感想をお聞かせいただきたくアンケートにご協力をお願いいたします。

同封のアンケートハガキにご記入のうえ、ご投函ください。

## ホームページのご紹介

当社の企業情報やIR情報をホームページに掲載しています。

また株主通信のバックナンバーも掲載しておりますので、是非ご覧ください。



トップページ <http://www.mec-co.com/>  
IRトップページ <http://www.mec-co.com/ir/>

## 表紙の設備について

### 金属顕微鏡

試料に対物レンズ側から光を照射して、反射光をレンズによって結像させて観察する落射照明型顕微鏡。

当社では、基板の外観や断面図の観察に使用しています。観察画像を撮影後、各種計測などの詳細な解析を行っています。



## メック株式会社

証券コード：4971

## 第44期中間株主通信

平成24年4月1日から平成24年9月30日まで

- P1 株主のみなさまへ
- P5 財務ハイライト
- P6 特集
- P7 連結財務諸表
- P9 会社概要
- P10 株式の状況
- P11 株主メモ

# Creating Surface Possibilities





代表取締役社長 前田 和夫

## 高密度から汎用基板まで、電子基板における幅広い市場に当社技術の浸透を図ります。

株主のみなさまにおかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は当社に対し格別のご高配を賜りまして、厚く御礼申し上げます。

当期は、ユーロ圏においては金融・財政問題の長期化や新興国経済の一段の減速より、依然として先行き不透明な状況で推移しました。

エレクトロニクス業界では、スマートフォンやタブレットPC等の販売が堅調に推移したものの、薄型テレビやパソコンが引き続き厳しい状況となり、電子基板業界においても全般的に低調傾向が続きました。

このような環境のもと、メックグループは電子基板市場で継続して高密度電子基板向け・汎用基板向けに新規薬品開発を着実に進める一方、中国・台湾に展開する当社子会社の人員および設備増強、とりわけ技術サポートの強化を進めてまいりました。

今後も、高性能でお客様の求める薬品開発を進め、引き続き電子基板市場での当社技術の浸透を図ります。また、電子基板以外の新たな市場へコア技術の展開を図り、競争力と収益力の強化に努めてまいります。中国におきましては、今後の経済状況や社会情勢等のリスクを想定しつつ、継続して現地子会社の技術対応力を強化するとともに、更なるメックグループの連携を強めて市場深耕に努めてまいります。

株主のみなさまには、なお一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成25年3月期第2四半期連結累計期間の業績および今後の事業方針についてご報告申し上げます。

### Q 当期概況と決算における数値について

A 高密度電子基板用薬品を含め全般的に低調でしたが、上半期後半から回復傾向となりました。

当第2四半期連結累計期間において、国内は、東日本大震災からの復興需要を中心に内需主導のもとで緩やかな回復が見られたものの、世界景気の減速や長引く円高等の影響により景気の先行きが不透明な状況のまま推移いたしました。

このような状況のもと、メックグループはアジアを中心とする海外向けの高密度電子基板用薬品の販売と技術サポートに注力いたしました。また、コスト抑制や業務効率化など経営体質の改善についても継続的に推進いたしました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は31億91百万円(前年同期比3.2%減)と減収になりました。営業利益は3億90百万円(前年同期比17.8%減)、経常利益は3億69百万円(前年同期比10.9%減)、四半期純利益は2億65百万円(前年同期は、19百万円の四半期純損失)と増益になりました。

### 第2四半期(累計)実績および期末業績予想(連結)

	平成24年3月期 第2四半期	平成25年3月期 第2四半期	平成25年3月期 予想
売上高	3,296	3,191	6,800
営業利益	474	390	850
経常利益	414	369	800
当期純利益	△19	265	470

※ 業績予想につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき当社が合理的に判断したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

### Q 製品・地域セグメント別の販売動向は？

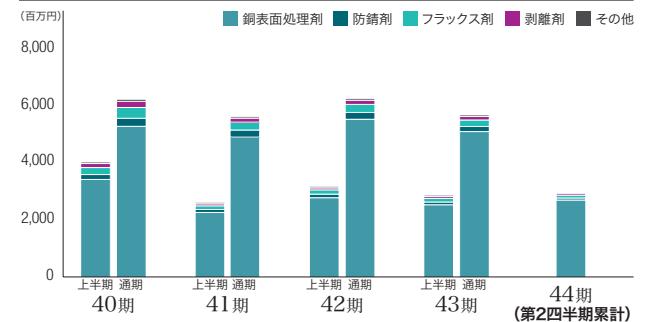
A タッチパネル用マイクロエッチング剤が堅調

当社グループの品目別売上構成比(連結)のうち、「薬品」の売上高は、パソコン販売が低調であったものの、スマートフォンやタブレットPC向け、タッチパネル用途での拡販が進み、29億32百万円(前年同期比3.8%増)となり、売上高全体に占める割合は91.9%(前年同期比6.2%増)となりました。このうち超粗化剤CZシリーズの売上は15億93百万円(前年同期比1.0%増)で、薬品売上高に占める割合は54.3%(前年同期比1.6%減)となりました。

銅表面処理剤につきましては、CZシリーズのうちパソコンの出荷台数減少に伴い、それらに搭載されるパッケージ基板向けが減少したものの、スマートフォン用パッケージ基板や、マザーボード向けが堅調に推移しました。また、タッチパネル用途のマイクロエッチング剤や、有機ELパネル搭載のテレビ等に使用されるCOF(Chip on Film)\*製造用薬品、クイックエッチング剤が順調に推移いたしました。

地域別売上高(連結)に占める海外売上高比率は45.9%(前年

### 製品セグメント別売上高





同期比3.1%減)となりました。金融・財政問題による経済活動の低迷が続く欧州は対前年同期比68.9%と減少しましたが、国内と中国(蘇州)の売上がそれぞれ対前年同期比で101.2%、107.6%と伸長しました。

\* ポリイミドベース基板を用いたパッケージ基板の形態。軽量化できることにより注目を浴びております。

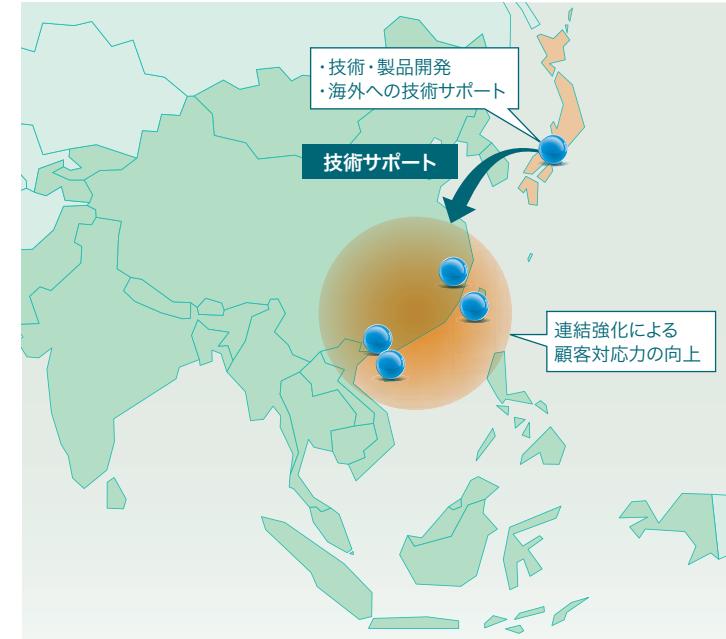
**Q** 市場動向を踏まえた事業方針は？

**A** ハイエンド基板の市場で確実に成果を上げながら、市場規模の大きいミドルレベルの基板市場を取り込んでいきます。

エレクトロニクス製品市場では、パソコンの販売が世界的に減少の傾向にある一方、スマートフォンやタブレットPCの市場拡大は当面続くと見られ、当社グループとしましては、引き続きこれら市場に向けたCZシリーズやVボンド、マイクロエッチング剤など銅表面処理剤の拡販に努めてまいります。

このほかハイエンドな基板向けとしては、前述のCOF製造用薬品クイックエッチング剤が順調に推移しているほか、自動車関連市場でのVボンドも一定の成果が見えはじめています。とりわけ後者は中長期的に期待できる市場として、更なる拡販と開発に注力してまいります。基本方針としましては、「界面処理」をコアとした当社の技術上での競争力が発揮できるハイエンド基板の市場で確実に成果を上げながら、より汎用的で市場規模の大きいミドルレベルの基板市場を取り込んでいきます。

一方、中国国内では政情不安が一部顕在化しましたが、当社グループではこのような情勢下でも対応すべくインフラ、人材を備えてまいりました。今後も情勢を注視しながら継続して、現地



子会社の技術サポート力の強化、台湾・中国の連携により営業力を強めることに取り組み、市場深耕を進めていく方針です。

**Q** 配当政策については？

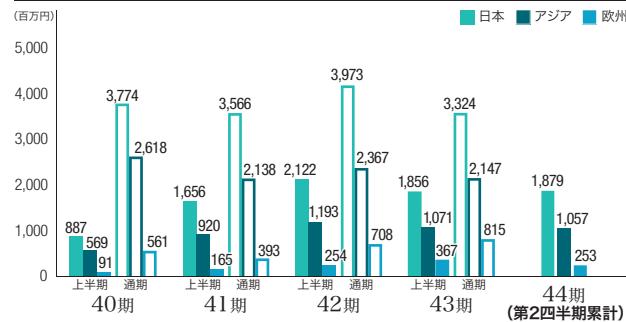
**A** 安定配当の考えを維持しつつ、期間利益の反映を図り、中間配当は1株当たり4円とさせていただきます。

平成25年3月期の連結業績予想につきましては、第2四半期累計期間の連結業績を踏まえ、平成24年5月11日に公表いたしました通期の連結業績予想通り、売上高68億00百万円(前期比8.2%増)、営業利益8億50百万円(前期比15.9%増)、経常利益8億00百万円(前期比16.5%増)、純利益4億70百万円(前期比696.9%増)としています。

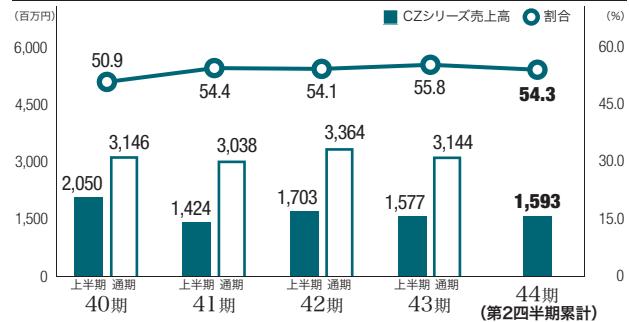
配当金につきましては、当社をとりまく環境が依然不透明なことから安定配当の考えを維持しつつ、期間利益の反映を図る所存です。当期配当につきましては、1株当たり中間配当金4円、期末配当金4円の年間8円を予定しております。

代表取締役社長 前田 和夫

地域セグメント別売上高

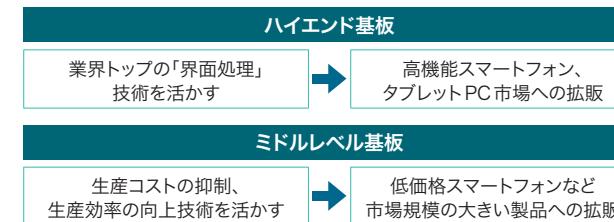


薬品売上高に占めるCZシリーズの割合

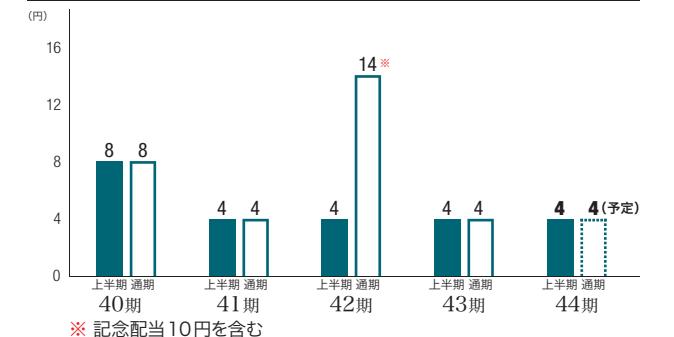


今後の営業方針

メックの技術・製品ラインナップを活かし、ハイエンド・ミドルレベル基板市場での売上拡大をめざす。

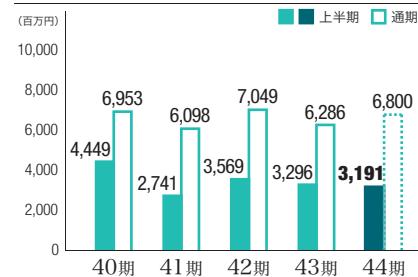


1株当たりの配当金

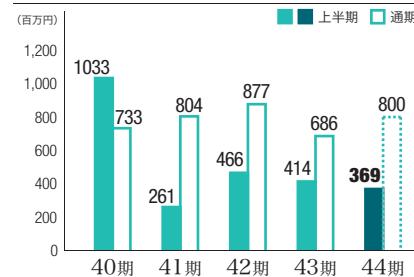


# 財務ハイライト

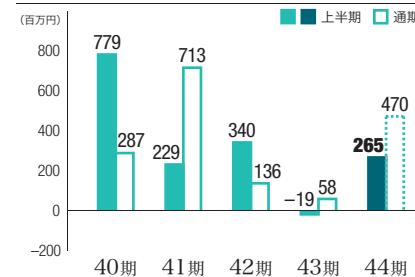
## 売上高



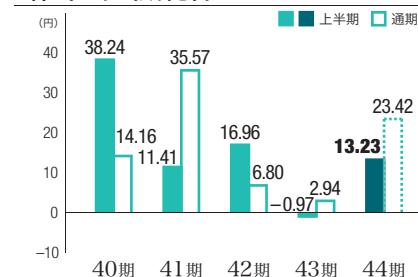
## 経常利益



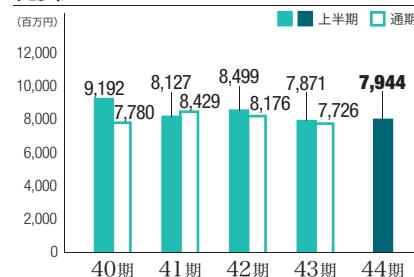
## 当期純利益



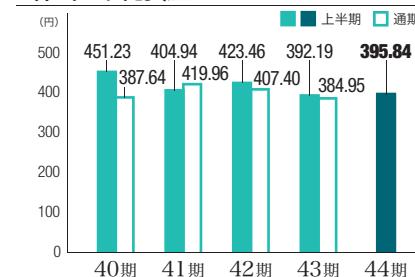
## 1株当たり当期純利益



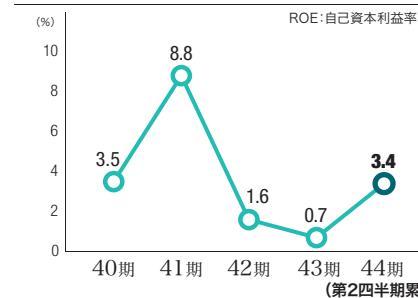
## 純資産



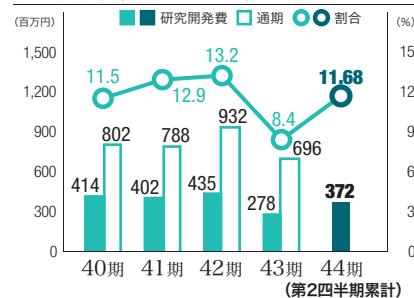
## 1株当たり純資産



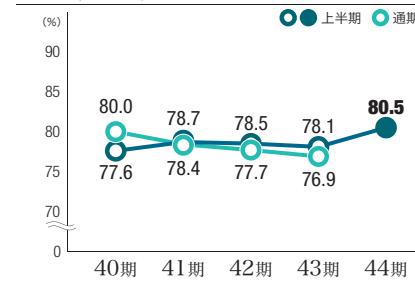
## ROE



## 研究開発費の対売上比率



## 自己資本比率



免責事項: 本報告書に記載している将来に関する予想については、現在入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいています。実際の業績は、さまざまな要因の変化により、異なる場合があることをご承知おください。

# 特集

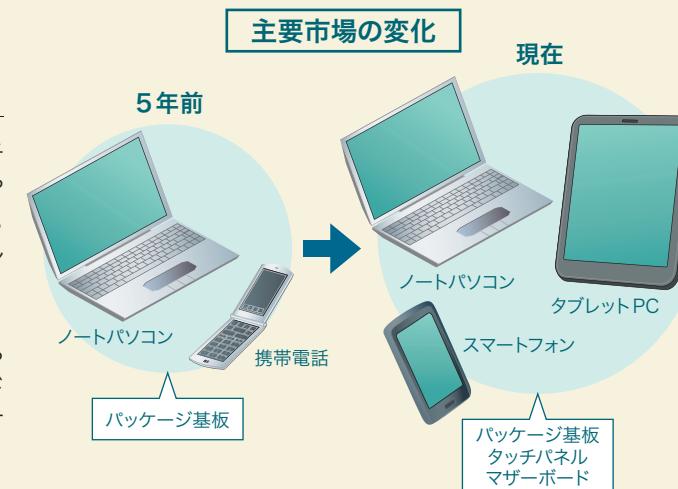
メックは、エレクトロニクス産業を中心に社会に貢献する製品づくりをグローバルに展開しています。

## 技術・製品のご紹介

### メックが活躍する市場

エレクトロニクス製品に搭載されるパッケージ基板や多層電子基板の製造プロセスに、当社の銅表面粗化剤「CZシリーズ」や積層前処理剤「V ボンド」が欠かせない薬品になっています。5年ほど前から、年率2ケタ成長を続けていた薄型TVやデジタルカメラ、ノートPCといった製品にもCZシリーズが採用され、高い市場占有率を獲得してきました。

代わって現在はスマートフォンやタブレットPCが急増。こちらでもCZシリーズ採用が進むなど、高密度電子基板のハイエンド市場では競争力を保持し続けています。今後とも販売、技術サポート力を強化し、加速する市場の変化にも対応してまいります。



## 海外拠点のご紹介

### 台湾美格股份有限公司(メック台湾)

你好! メック台湾は1990年メックの最初の海外拠点として誕生し、今年で22年になります。

台湾はパソコンやスマートフォン等の電子機器類の動作を司る半導体を製造するメーカーが多く、パッケージ基板向けの薬品販売が約76%(前年実績)を占めます。台湾の基板メーカーは技術が高く要求も厳しいことから、近年、評価用基板処理や依頼分析に対応できるように処理装置や分析機器を増強しています。

我々の顧客は、台湾で製品評価を行い、合格すれば中国工場で使用するというところも多いです。日本、台湾、中国との連携を尚一層強め、メック製品の拡販に貢献できるよう努力しています。



社員数 33名(内、日本人5名)  
敷地面積 7,400m<sup>2</sup>  
延床面積 3,400m<sup>2</sup>  
生産能力 900t/月  
売上 976百万円(前期実績)

## 連結財務諸表

### 連結貸借対照表(要約)

(単位:千円)

	前連結会計年度末 平成24年3月31日	当第2四半期 連結会計期間末 平成24年9月30日
(資産の部)		
<b>流動資産</b>	<b>5,090,776</b>	<b>4,983,737</b>
1▶ 現金及び預金	2,827,517	2,481,421
2▶ 受取手形及び売掛金	1,681,216	1,879,793
商品及び製品	204,056	186,819
仕掛品	28,286	27,110
原材料及び貯蔵品	201,777	214,639
繰延税金資産	97,346	125,794
その他	59,848	75,125
貸倒引当金	△ 9,272	△ 6,965
<b>固定資産</b>	<b>4,961,910</b>	<b>4,884,277</b>
有形固定資産	4,464,518	4,487,830
3▶ 建物及び構築物(純額)	1,238,089	1,265,722
機械装置及び運搬具(純額)	358,482	345,717
工具、器具及び備品(純額)	114,152	113,474
土地	2,723,504	2,735,962
建設仮勘定	30,289	26,953
無形固定資産	47,167	44,636
投資その他の資産	450,224	351,810
4▶ 投資有価証券	352,697	257,312
繰延税金資産	1,193	421
その他	116,778	111,811
貸倒引当金	△ 20,444	△ 17,734
<b>資産合計</b>	<b>10,052,686</b>	<b>9,868,015</b>

- Point **1** 現金及び預金:銀行借入金の返済、配当金および税金の支払他。  
 Point **2** 受取手形及び売掛金:前4Qに比べ売上が増加したことによる売上債権の増加。  
 Point **3** 建物及び構築物:廃棄物置場移設工事他。  
 Point **4** 投資有価証券:保有株式の時価下落。

### 連結貸借対照表(要約)

(単位:千円)

	前連結会計年度末 平成24年3月31日	当第2四半期 連結会計期間末 平成24年9月30日
(負債の部)		
<b>流動負債</b>	<b>1,758,074</b>	<b>1,556,931</b>
支払手形及び買掛金	543,005	501,670
5▶ 短期借入金	480,000	380,000
6▶ 未払金	302,762	208,815
未払費用	44,743	53,959
未払法人税等	105,186	61,567
繰延税金負債	1,354	1,546
賞与引当金	131,525	175,432
役員賞与引当金	7,200	5,100
その他	142,296	168,840
<b>固定負債</b>	<b>568,337</b>	<b>366,208</b>
7▶ 繰延税金負債	363,566	200,321
退職給付引当金	108,800	98,453
その他	95,971	67,433
<b>負債合計</b>	<b>2,326,412</b>	<b>1,923,140</b>
(純資産の部)		
<b>株主資本</b>	<b>8,519,134</b>	<b>8,704,356</b>
資本金	594,142	594,142
資本剰余金	446,358	446,358
8▶ 利益剰余金	7,478,645	7,663,868
自己株式	△ 12	△ 12
<b>その他の包括利益累計額</b>	<b>△ 792,859</b>	<b>△ 759,482</b>
9▶ その他有価証券評価差額金	51,574	△ 7,869
10▶ 為替換算調整勘定	△ 844,434	△ 751,612
<b>純資産合計</b>	<b>7,726,274</b>	<b>7,944,874</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>10,052,686</b>	<b>9,868,015</b>

- Point **5** 短期借入金:銀行借入金の返済他。  
 Point **6** 未払金:設備関係未払金の支払他。  
 Point **7** 繰延税金負債:子会社の配当等に伴う子会社の留保金の減少。  
 Point **8** 利益剰余金:当期純利益による増加(265百万円)、配当による減少(△80百万円)。  
 Point **9** その他有価証券評価差額金:保有株式時価額下落による減少。  
 Point **10** 為替換算調整勘定:海外子会社財務諸表の為替換算差額他。

### 連結損益計算書(要約)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで	当第2四半期連結累計期間 平成24年4月1日から 平成24年9月30日まで
<b>11▶ 売上高</b>	<b>3,296,021</b>	<b>3,191,385</b>
売上原価	1,320,394	1,169,039
<b>12▶ 売上総利益</b>	<b>1,975,627</b>	<b>2,022,346</b>
<b>13▶ 販売費及び一般管理費</b>	<b>1,500,668</b>	<b>1,631,902</b>
<b>14▶ 営業利益</b>	<b>474,958</b>	<b>390,443</b>
<b>営業外収益</b>	<b>21,262</b>	<b>28,874</b>
受取利息	8,052	15,278
受取配当金	5,457	4,374
その他	7,752	9,221
<b>営業外費用</b>	<b>81,478</b>	<b>49,578</b>
支払利息	2,237	2,596
投資有価証券評価損	35,481	7,954
為替差損	40,289	37,917
その他	3,469	1,110
<b>15▶ 経常利益</b>	<b>414,743</b>	<b>369,739</b>
<b>特別利益</b>	<b>4,252</b>	<b>3,101</b>
固定資産売却益	1,507	1,530
保険解約返戻金	2,744	1,571
<b>特別損失</b>	<b>3,963</b>	<b>4,626</b>
固定資産売却損	101	1,176
固定資産除却損	3,862	3,450
<b>税金等調整前四半期純利益</b>	<b>415,031</b>	<b>368,214</b>
<b>16▶ 法人税等</b>	<b>190,082</b>	<b>102,707</b>
法人税等の更正、決定等による 納付税額又は還付税額	244,412	—
少数株主損益調整前四半期純利益又は 少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△ 19,464	265,507
<b>17▶ 四半期純利益又は四半期純損失(△)</b>	<b>△ 19,464</b>	<b>265,507</b>

### 連結包括利益計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで	当第2四半期連結累計期間 平成24年4月1日から 平成24年9月30日まで
少数株主損益調整前四半期純利益又は 少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△ 19,464	265,507
<b>その他の包括利益</b>	<b>△ 4,687</b>	<b>33,377</b>
その他有価証券評価差額金	△ 54,787	△ 59,444
為替換算調整勘定	50,100	92,821
<b>四半期包括利益</b>	<b>△ 24,151</b>	<b>298,884</b>
親会社株主に係る四半期包括利益	△ 24,151	298,884
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

- Point **11** 売上高:前年同期比、104百万円(3.2%)の減収。  
 薬品売上、2,932百万円。前年同期比、107百万円(3.8%)の増加。  
 資材売上、183百万円。前年同期比、185百万円(50.3%)の減少。  
 Point **12** 売上総利益:前年同期比、46百万円(2.4%)の増益。  
 薬品売上の構成比率アップ(85.7%→91.9%)による、売上総利益率の上昇。  
 Point **13** 販売費及び一般管理費:前年同期比、131百万円(8.7%)の増加。人件費の増加が主要因。  
 Point **14** 営業利益:前年同期比、84百万円(17.8%)の減益。  
 Point **15** 経常利益:前年同期比、45百万円(10.9%)の減益。  
 Point **16** 法人税等:グループ税金費用負担の減少に伴う法人税等の減少。  
 Point **17** 四半期純利益又は四半期純損失(△):前年同期比、284百万円の増益。

## 会社概要

### 会社概要 平成24年9月30日現在

商号	メック株式会社
本社事務所所在地	兵庫県尼崎市昭和通三丁目95番地 アマックスビル
設立年月日	1969年(昭和44年)5月1日
資本金	594,142,400円
事業内容	電子基板製造用薬品の製造販売及び 機械装置、各種資材の販売

### 役員 平成24年9月30日現在

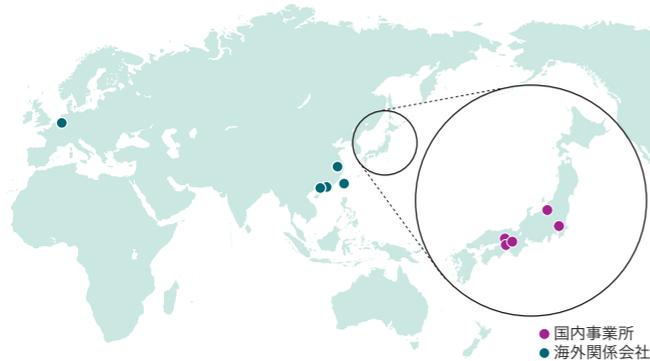
代表取締役社長	前田 和夫
取締役兼常務執行役員	溝口 芳朗
取締役兼常務執行役員	西川 裕史
取締役(社外取締役)	佐竹 隆幸
常勤監査役(社外監査役)	前田 勝廣
監査役(社外監査役)	松山 英明
監査役(社外監査役)	田中 明子

### 国内事業所 平成24年9月30日現在

<b>本社/大阪営業所</b>	〒660-0881 兵庫県尼崎市昭和通三丁目95番地 アマックスビル TEL. 06-6414-3451(代) FAX. 06-6414-3455
<b>東京営業所</b>	〒190-0003 東京都立川市栄町六丁目1番1号 立飛ビル7号館7階 TEL. 042-538-1080(代) FAX. 042-538-1090
<b>新潟営業所/長岡工場</b>	〒940-2045 新潟県長岡市西陵町221番地36 TEL. 0258-47-2490(代) FAX. 0258-47-2492(営業) 0258-47-2493(生産)
<b>西宮工場</b>	〒663-8142 兵庫県西宮市鳴尾浜二丁目1番19号 TEL. 0798-46-8588(代) FAX. 0798-46-8688
<b>研究所</b>	〒660-0832 兵庫県尼崎市東初島町1番地 TEL. 06-6401-8170(代) FAX. 06-6401-8172

### 海外拠点 平成24年9月30日現在

<b>MEC TAIWAN COMPANY LTD.</b>	No.3, Ziqiang 6th Rd., Zhongli City, Taoyuan County 320, Taiwan (R.O.C) TEL. 886-3-434-3549 FAX. 886-3-434-5047
<b>MEC EUROPE N.V.</b>	Kaleweg 24-26, B-9030 Gent, Belgium TEL. 32-9-216-7272 FAX. 32-9-216-7270
<b>MEC (HONG KONG) LTD.</b>	No.8, 12/F., Tower 3 China Hong Kong City, 33 Canton Road, Tsimshatsui, Kowloon, Hong Kong TEL. 852-2690-2255 FAX. 852-2690-2262
<b>MEC FINE CHEMICAL (ZHUHAI) LTD.</b>	530 An Ji East Road, Sanzao Town, Jinwan Qu, Zhuhai City, Guang Dong 519040, China TEL. 86-756-762-2328 FAX. 86-756-762-2628
<b>MEC CHINA SPECIALTY PRODUCTS (SUZHOU) CO., LTD.</b>	31 Linjiang Road, Suzhou Industrial Park, Jiangsu 215121, China TEL. 86-512-6745-1990 FAX. 86-512-6745-1993



## 株式の状況

### 株主状況 平成24年9月30日現在

発行済株式総数	20,071,093株
株主数	4,440名

### 大株主の状況 平成24年9月30日現在

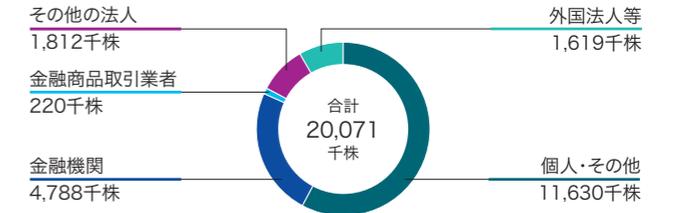
株主名	当社への出資状況	
	所有株数(千株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,317	11.54
有限会社ケイ・エム・ビジネス	1,199	5.97
前田 耕作	1,005	5.00
前田 和夫	692	3.45
野村信託銀行株式会社(投信口)	663	3.30
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	606	3.02
川邊 豊	602	2.99
小林 義雄	600	2.98
腰高 修	596	2.97
メロンバンクエヌエーティー・クライアントオムニバス	504	2.51

### 株価の推移

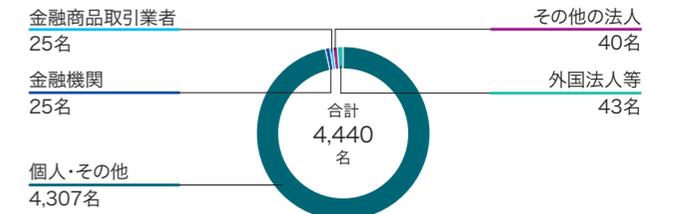


### 株式分布状況 平成24年9月30日現在

#### 所有者別所有株式数の構成



#### 所有者別株主数の構成



※「個人・その他」には自己名義株式を含んでおります。